

第2期鎌ヶ谷市観光ビジョン 28のアクション進捗管理・評価シート(令和6年度事業)

No	事業名	主たる関係課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	令和6年度に実施した事業	事業の成果	令和6年度の評価	課題と今後の取組
基本方針1 参加型観光推進体制の構築と基盤整備										
施策1-1 新たな参加型イベントの構築										
1	梨をコンセプトにしたイベントの実施(重点)(新規)	農業振興課 商工観光課	来場者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	-	人	梨をコンセプトにしたイベント(梨サミット、梨フェスタ)の概要やスケジュール等について、関係各課と協議した。	ニコカマフェス2025と同時開催する方針を決定することができた。	A順調に進んでいる	梨をコンセプトにしたイベント(梨サミット、梨フェスタ)のあり方について関係各課で協議を進め、梨の新規購入者や観光客の増加を図っていく。 また、イベント協力先を拡大するとともに、梨を特産品とする本市でしか体験できないイベントとなるよう差別化を図っていく。
2	市内を巡る仕掛けづくり	商工観光課	高校生フォトコンテスト応募作品数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	154	作品	県民の日東葛飾地域行事では、観光施設や飲食店等にパネルを設置し、キーワードラリーイベントを行った。 また、高校生フォトコンテストでは、コンテストを通じて、千葉県・鎌ヶ谷市の魅力をPRした。	県民の日東葛飾地域行事では、キーワードラリーの賞品の応募総数は533通であった。 高校生フォトコンテストでは、10校81人から154作品の応募があった。	A順調に進んでいる	県民の日東葛飾地域行事は東葛飾地域6市で実施している事業であるため、今後のイベントのあり方について近隣市と連携していくことが必要である。 高校生フォトコンテストは、多くが県内高校からの応募であるため、県外高校への周知を強化していくことが課題である。
施策1-2 観光基盤の整備・充実										
3	新鎌ヶ谷駅南口の活用(新規)	全課	-	-	-	-	市有地の公募型プロポーザルを実施した。	京成電鉄及びコープ共済連を構成員とする共同企業体が事業者として決定した。	A順調に進んでいる	提案時の建物の建設に向け、協議を行っていく。
4	公園の環境整備	商工観光課 公園緑地課	-	-	-	-	市制記念公園水遊び場整備事業を実施した。	7月から本格オープンした。猛暑のなか多くの来園者が水遊び場を利用し、子ども達の歓声が聞こえた。	A順調に進んでいる	【課 題】 猛暑が続き、利用者から日除け等の増設について要望があった。 また、水遊び場入口付近において、駐輪場利用者と接触する恐れがあった。 【今後の取組】 令和7年度予算において、日除け等の増設及び駐輪場の新設を行う。 また、にぎわいの創出に向けた事業の実施について、調査・研究を行う。
5	道路整備	道路河川整備課 道路河川管理課	道路の整備延長	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	1,909	m	道路等の整備(新設や改良)をL=1,909m実施した。	新たな道路等の供用開始により利便性が向上し、舗装の改良等により道路環境の改善につながった。	B改善が必要	道路等の整備に関する要望は依然として多く寄せられており、対策が必要な箇所が多い状況のなか、道路等の整備には多額の費用や多くの年月を要するが、国の交付金など十分な財源の確保が難しい状況であることから、限られた費用のなかで成果を挙げられるよう、計画的に取り組んでいく。

No	事業名	主たる関係課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	令和6年度に実施した事業	事業の成果	令和6年度の評価	課題と今後の取組
6	デジタル技術の活用(新規)	商工観光課	-	-	-	-	令和5年度に導入したインバウンド対応SNS「クールジャパンビデオ」及び多言語観光情報サイト「Guidoor」について、両者の運用マニュアルを定めて本格的に運用を開始した。 また、千葉商科大学による佐津間地区を中心とするSound ARについて、音声ガイド作成の原稿確認を行った。	市のイベントや観光スポット等を、日本人のみならず外国人にも効果的に周知することができた。 また、3月に実施した鎌ヶ谷プロモーションDAYにおいて、千葉商科大学による北部地区の音声ガイドの発表を行うことができた。	A順調に進んでいる	市のイベントや観光スポット等について、継続して情報発信していく。
基本方針2 鎌ヶ谷市民・事業者の意識向上										
施策2-1 市民及び市内事業者の連携による付加価値の増進										
7	産業フェスティバル&農業まつり	農業振興課 商工観光課	来場者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	14,180	人	産業フェスティバルは、会場である福太郎アリーナの空調設備改修工事の関係で、例年より1か月前倒しで9月28日(土)、29日(日)に開催した。 前倒し開催により、収穫可能な野菜が少ない時期のため、農業まつりの同時開催は行わず、10月25日(金)に市役所市民ホールで、農業まつり「秋の収穫・感謝祭(縮小版)」を開催した。	産業フェスティバルには57事業者が参加し、2日間の来場者数は14,180人であった。 また、農業まつり「秋の収穫・感謝祭(縮小版)」では、梨(秋満月、王秋)、落花生を販売し、秋満月90袋、王秋42袋、落花生70袋を売り上げることができた。	A順調に進んでいる	令和7年度の産業フェスティバルは、福太郎アリーナが空調設備改修工事で使用できないため、商工会との協議の結果中止することとなった。 農業まつりは、農業者の協力のもと、多様な農産物及び加工品を来場者へ提供できるよう、実施時期も含め、事業の充実に向けて検討していく。
8	市民まつり	市民活動推進課	来場者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	95,000	人	①相馬野馬追騎馬武者行列 ②第50回記念事業阿波おどり ③ご当地キャラクターイベント ④フリーバザール ⑤ステージイベント ⑥新鎌通りパレード ⑦こどもイベント ⑧KAMA-1グランプリ ⑨学校演奏	第50回記念に相応しい過去最大規模の市民まつりとなり、市の大きなPRにつながった。	B改善が必要	目玉となっているイベントに鎌ヶ谷市の独自性が薄いことや、財政状況が難局を迎えており、同規模の市民まつり継続について長期的展望が不透明であること等から、事業や予算について抜本的な見直しが必要となっている。
9	NICOカマフェス	こども支援課	来場者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	3,887	人	市、市民、事業者の三者が一体となり、街全体で子育てを目指すイベントを、子育て団体や子育てを応援する出展者からなる実行委員会と共催で実施した。	行政出展による移動児童館やハイハイレースを実施したほか、ワークショップやハンドメイドなどの出展や体験ラリー等を実施した。 また、きらりホールでのステージイベントを併せて実施した結果、参加者数は延べ3,887人、昨年度比で1,000人増となった。	A順調に進んでいる	令和7年度からニコカマフェス実行委員会委員が新しく入れ替わるとともに、会場であるショッピングプラザの1・2階が使用できなくなる見込みのため、これまで以上に実行委員会と連携を図りながら開催する必要がある。
10	かまがや朝市	農業振興課	開催回数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	50	回	毎週土曜日にかまがや朝市を開催した。	市民に好評でリピーターも多く、毎回30分程度で完売することができた。	A順調に進んでいる	リピーターも増えており市民への認知度は上がっているため、今後とも事業継続を支援していく。 また、朝市組合員の高齢化により、組合員数の減少が懸念されることが課題のため、事務局である農協と協力して支援していく。
11	かまがやの花火	企画政策室	来場者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	20,000	人	かまがやの花火実行委員会が主催、市が後援を行い、打上場所は市制記念公園野球場、観覧場所は福太郎スタジアムとして、花火が打ち上げられた。福太郎アリーナの駐車場では、縁日・屋台が開かれた。	鎌ヶ谷市への愛着を醸成することを目的として、市のPRや地域活性化を図ることができた。	A順調に進んでいる	令和7年度のかまがやの花火は、福太郎アリーナの空調設備改修工事のため、開催を見送ることとなったが、引き続き、主催者と連携して安全面等の対策を講じながら、花火を通じて市のPRや地域活性化を図っていく。

No	事業名	主たる関係課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	令和6年度に実施した事業	事業の成果	令和6年度の評価	課題と今後の取組
12	スリランカフェスティバル	企画政策室	来場者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	12,000	人	在日スリランカ協会、スリランカビジネス評議会が主催、市が後援を行い、市役所駐車場にて、伝統工芸品、料理、ヨガやアーユルヴェーダ体験、大使館ブース等が開かれた。	料理や体験などを通じて、スリランカに関する伝統や文化に触れ、多文化共生・国際交流の推進を図ることができた。	A順調に進んでいる	引き続き、主催者と連携して事前の周知等を積極的に行い、多文化共生・国際交流の推進を図っていく。
施策2-2 市民が鎌ヶ谷市を好きになる体制の推進										
13	観光タウンミーティング	商工観光課	開催回数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	1	回	商工観光課、鎌ヶ谷高校料理研究部、市内水産加工業者が事業協力し、令和5年度に商品開発したオリジナルつけだれ「みそばじる」を使用した魚料理を、9月9日(月)に市内公立保育園の給食メニューとして提供した。	高校生は、自分たちが商品開発した料理を保育園給食として提供することで、保育園のこどもたちは、地元食材を使った給食を食べることで、市への愛着を深める機会とすることができた。	A順調に進んでいる	観光意識を醸成するため、引き続き観光タウンミーティングに協力いただける市民・事業者を募り、市民・事業者・行政の協働による実施事業を検討していく。
基本方針3 ロコミやマスメディア等を活用した情報発信										
施策3-1 情報発信力の強化										
14	特派員(新規)	商工観光課	特派員人数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	-	人	12月7日(土)に、市民ライターによる市のガイドブック「木更津マガジン」を発刊している木更津市を視察し、担当職員へのインタビュー及び市民ライターのワークショップ見学を行った。	木更津市を視察することで、鎌ヶ谷市に特派員制度を導入するにあたっての基礎資料とすることができた。	A順調に進んでいる	地域の話題や催し物などの市の魅力を市内外に発信する特派員制度について、包括的連携協定の締結先である千葉商科大学と協議を進めていく。
15	事業者と連携した情報発信(新規)	商工観光課	連携事業者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	69	社	令和6年度に作製した観光情報誌「かまって鎌ヶ谷」Vol.1について、市内公共施設、コミュニティ・ベンチャービジネス事業補助金・空き店舗活用補助金交付決定事業者、市内主要法人7法人に対して観光情報誌の配架依頼を行い、事業者による情報発信を行うことができた。	市内公共施設25施設、コミュニティ・ベンチャービジネス事業補助金・空き店舗活用補助金交付決定事業者62事業者、市内主要法人7法人に対して観光情報誌の配架依頼を行い、事業者による情報発信を行うことができた。	A順調に進んでいる	令和7年度に「かまって鎌ヶ谷」Vol.2、令和8年度にVol.3の作製を予定しているため、引き続き超普通スタジオと連携して情報誌の作製を進める。 また、発刊した際には事業者へ協力依頼し、情報発信の強化に努める。
16	ガイドマップの作製	商工観光課	作製冊数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	1	冊	市民活動応援補助金の採択事業である「鎌ヶ谷市観光・商品の情報誌&PRアニメ制作プロジェクト」を、採択事業者である超普通スタジオと協働で進めた。	令和7年3月に観光情報誌「かまって鎌ヶ谷」Vol.1を発刊することができた。 これにより、東武野田線鎌ヶ谷駅からファイターズ鎌ヶ谷スタジアムまでの回遊性の向上を図ることができた。	A順調に進んでいる	令和7年度に「かまって鎌ヶ谷」Vol.2、令和8年度にVol.3の作製を予定しているため、引き続き超普通スタジオと連携して情報誌の制作を進める。 なお、Vol.2では北総線、Vol.3では京成松戸線の市内主要駅から市内を周遊するMAPを掲載予定である。
17	市外イベントへの参加	農業振興課 商工観光課 文化・スポーツ課	参加回数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	5	回	①柏レイソル鎌ヶ谷ホームタウンサンクスデー(7月6日) ②東京スカイツリーPRイベント(8月31日) ③農産物販路拡大イベント(パークタワー晴海)(9月1日) ④中山競馬場鎌ヶ谷特別競走(3月23日) ⑤NECグリーンロケッツ東葛ホストタウンデイ(3月29日)	①先着200人にふるさと産品等を抽選配布した。 ②先着200人の梨の抽選会を2回実施し、合計400人の参加があった。 ③およそ160世帯の来場があった。 ④持ち込んだ農産物は完売し、葉物野菜8,000円、トマト12,000円、いちご13,000円の売上があった。 ⑤先着300人にふるさと産品等をサンプリング配布した。	A順調に進んでいる	農業者、農協と協力して今後も市外イベントへの参加を継続していく。 また、ふるさと産品等を活用した市のPRを併せて継続していく。

No	事業名	主たる関係課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	令和6年度に実施した事業	事業の成果	令和6年度の評価	課題と今後の取組
施策3-2 職員に対する情報発信の意識化										
18	職員間での連絡会議(新規)	全課	開催回数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	2	回	2月5日(水)に「情報発信の強化について」をテーマとした車座集会(提案版)を開催し、職員間の情報共有等を図った。 また、3月19日(水)に企画政策室、広報広聴室、商工観光課の担当者打ち合わせを行い、車座集会(提案版)で出た意見の精査を行った。	車座集会(提案版)により、情報発信の強化に係る課題及び解決策について洗い出し、共有することができた。 また、その後の担当者打ち合わせにより、今後実施していく施策について具体案を考えることができた。	A順調に進んでいる	車座集会(提案版)及び担当者打ち合わせで具体化した施策について、更に精査を重ねて実現につなげていく。
施策3-3 鎌ヶ谷市マスコットキャラクターかまたんの活用										
19	かまたんを活用した取組	農業振興課	かまたん出動回数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	61	回	市の各イベントへ参加した。	各イベントに参加することで集客及び本市のイメージの向上に寄与することができた。	A順調に進んでいる	庁内外の各種イベントへの参加を今後も積極的に行っていく。
基本方針4 地域ストーリーを重視した観光資源の魅力向上										
施策4-1 鎌ヶ谷市特産品の推進										
20	鎌ヶ谷グルメの推進	農業振興課 商工観光課	-	-	-	-	農業者が主導で新商品の開発を行い、農業の6次産業化が図られた。 また、北部小学校5年生が市の魅力向上のため、「鎌ヶ谷ご当地メニュー」を考案し、市職員のほか、市内農家や飲食店等を招いてのプレゼン会を行った。	梨ようかん(初清園)、削りいちご(古和谷園)、いちごスムージー((株)K-F arm)などの新商品が開発された。 また、北部小学校5年生のプレゼン会では、16品目の「鎌ヶ谷ご当地メニュー」のプレゼンがあり、市内農家、飲食店等から様々なアドバイスがあった。	A順調に進んでいる	農業者からの相談に応じて、どのような支援ができるのか検討し、支援につなげる。 また、小学校や市内事業者に対して協力できることを検討していく。
21	鎌ヶ谷市ふるさと産品の活用	商工観光課	ふるさと産品活用回数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	10	回	①柏レイソル鎌ヶ谷ホームタウンサンクスデー抽選会(7月6日) ②鎌ヶ谷デー抽選会(8月28日) ③イースタンリーグ茨城シリーズ抽選会(9月7日～8日) ④第50回鎌ヶ谷市民まつり粗品等(10月12日) ⑤アンコンシャスバイアスエピソード募集記念品(11月19日) ⑥鎌スタ年間シート抽選配布賞品(3月) ⑦永年勤続優良従業員表彰式賞品(3月13日) ⑧高校生フォトコンテスト表彰式賞品(3月20日) ⑨NECグリーンロケッツ東葛ホストタウンデーサンプリング(3月29日) ⑩ふるさと納税の返礼品(通年)	イベント出展や表彰式、ふるさと納税の返礼品等においてふるさと産品を活用し、市のPRにつなげることができた。	A順調に進んでいる	引き続き各イベント等でふるさと産品の活用を図っていく。

No	事業名	主たる関係課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	令和6年度に実施した事業	事業の成果	令和6年度の評価	課題と今後の取組
施策4-2 文化財のPR										
22	指定・登録文化財を中心とした文化財の整備・活用(重点)	文化・スポーツ課	-	-	-	-	①歴史的建造物保存活用計画の策定 ②澁谷家住宅の基本設計及び見学会の実施 ③千葉商科大学による佐津間地区を中心とするSound ARの活用(音声ガイド作成の原稿確認) ④市指定文化財百庚申の文化財説明看板の作製 ⑤指定等文化財の日常管理	①澁谷家住宅の見学会に52人が参加した。 ②3月に実施した鎌ヶ谷プロモーションDAYにおいて、千葉商科大学による北部地区の音声ガイドの発表があった。 ③文化財説明看板の作製によって市指定文化財の周知を図ることができた。	A順調に進んでいる	引き続き澁谷家住宅の見学会を開催するとともに、整備工事にに向けた実施設計を行う。 また、市内文化財の音声ガイドについて、活用を検討していく。
施策4-3 地域資源のストーリー化の推進										
23	春の牧ウマまつり	文化・スポーツ課	来場者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	1,338	人	①とっこめ桜まつり(4月5日) ②とっこめ寄席(5月10日) ③とっこめ塾(6月1日)	様々な世代に対して国史跡下総小金中野牧跡の周知を図ることができた。 【来場者数】 ①とっこめ桜まつり:1,079人 ②とっこめ寄席:234人 ③とっこめ塾:25人	A順調に進んでいる	来場者を増加させる方法を検討する必要がある。
24	カブトムシプロジェクト	商工観光課	カブトムシブリーダー数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	8	人	カブトムシと一緒に育ててくれるカブトムシブリーダーを募集した。 また、カブトムシの幼虫の個体数確保のため、幼虫の寄附を受け付ける旨周知した。	カブトムシブリーダーを8組募集することができ、うち2組から43匹の幼虫を提供いただくことができた。 また、5の個人・団体から、142匹の幼虫を寄附いただくことができた。	A順調に進んでいる	引き続きカブトムシブリーダー制度及び幼虫の寄附を呼びかけることで、カブトムシの個体数を確保していく。 また、入手した個体数を考慮して、幼虫配布イベント等の開催を検討する。
基本方針5 連携型観光事業の推進										
施策5-1 北海道日本ハムファイターズとの連携強化										
25	北海道日本ハムファイターズや関係自治体との連携	全課	-	-	-	-	①鎌スタ☆梨まつりの参加(8月21日) ②鎌ヶ谷デー開催(8月28日) ③北広島市ボールパーク推進室との意見交換(8月29日) ④「鎌スタ☆サマースクール～てらこや2024～」の協力(8月13日、14日、17日、20日、30日) ⑤「かまがや☆子どもサポートクラブ」の協力(8月22日、9月22日) ⑥茨城県内でのイースタンリーグ公式戦における市PRブースの出展(9月7日、8日) ⑦市民まつりのブース出展(10月12日) ⑧鎌ヶ谷市×北海道日本ハムファイターズ合同写真展(11月1日～12月1日)※市役所・東部学習センターで実施	既存事業のほか、球団と連携しこども向けの事業やPR事業等を新たに実施できた。	A順調に進んでいる	球団との連携を強化しつつ、ファイターズ鎌ヶ谷の会解散に伴い、会が実施していた「鎌スタ☆梨まつり」、「ルーキー鎌スタ☆お披露目会」といったイベントを継承するなど、ファイターズ鎌ヶ谷スタジアムを活用したPR事業やこども向けの事業等の実施を行う。

No	事業名	主たる関係課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	令和6年度に実施した事業	事業の成果	令和6年度の評価	課題と今後の取組
施策5-2 事業者、他団体との連携強化										
26	事業者との連携強化	全課	-	-	-	-	市内外の人に、本市を訪れまちを歩いていただくことにより、新たな魅力を知っていただく機会を創出することを目的に、東武鉄道㈱及び東武トップツアーズ㈱から募集のあった「東武健康ハイキング」を実施した。(9月27日～9月29日) また、インバウンド対応SNS「クールジャパンビデオ」及び多言語観光情報サイト「Guidoor」を活用して、インバウンド需要の取り込みを図った。	東武健康ハイキングは、3日間で延べ965人の方に参加いただくことができた。 また、インバウンド対応SNS「クールジャパンビデオ」及び多言語観光情報サイト「Guidoor」の運用を開始したことから、26件の高評価を得ることができた。	A順調に進んでいる	引き続き、東武鉄道㈱と連携してイベントを実施するとともに、他の鉄道事業者との連携を検討していく。 また、インバウンド対応SNS「クールジャパンビデオ」及び多言語観光情報サイト「Guidoor」の活用により、更なるインバウンド需要の取り込みを図っていく。
27	職場見学(体験)・農業体験(重点)	農業振興課 商工観光課	開催回数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	5	回	親子梨もぎとり体験を開催した。(8月26日) また、ファイターズ鎌ヶ谷スタジアムにおいて、「鎌スタ☆サマースクール～てらこや2024～」を5年ぶりに開校したほか、「かまがや☆子どもサポートクラブ」を開催した。	親子梨もぎとり体験は、20人(親子10組)に参加いただくことができた。 「鎌スタ☆サマースクール～てらこや2024～」は、5日間で延べ72人に参加いただき、親子向け防災講座やスタジアムツアーなどを行うことができた。 「かまがや☆子どもサポートクラブ」は2日間で延べ43人に参加いただき、工場見学や梨の学習などを行うことができた。	A順調に進んでいる	既存事業については、毎年好評のイベントであり、今後も継続していく。 また、地元事業者への愛着の増進を図るため、職場見学や農業体験を実施している事業者と連携を図り、実施を検討していく。
施策5-3 市民との協働										
28	コンシェルジュの育成(新規)	商工観光課	コンシェルジュ人数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	-	人	12月7日(土)に、市民ライターによる木更津市のガイドブック「木更津マガジン」を発刊している木更津市を視察し、担当職員へのインタビュー及び市民ライターのワークショップ見学を行った。	木更津市を視察することで、鎌ヶ谷市にコンシェルジュ制度を導入するにあたっての基礎資料とすることができた。	A順調に進んでいる	地域の話題や催し物などの市の魅力を市内外に発信する特派員制度を導入するとともに、特派員にコンシェルジュを担ってもらえるような仕組みづくりが必要である。